

# 生活習慣病予防及び重症化予防の 取り組みについて ～北九州市の取り組み～

北九州市八幡西区役所  
保健福祉課 丹田 智美  
(平成25年6月3日)



## 北九州市の概況

- 昭和38年に門司、小倉、若松、八幡、戸畑の5市対等合併によって誕生、市制50周年
- 7つの行政区で成り立っている
- 基幹産業は、古くからの製造業に加え、ロボット・海外水ビジネスにも着手
- 平成23年度には国から環境未来都市にも選定される



## 北九州市の概要



- 人口 972,713人<sup>[H24.3.31]</sup>
- 高齢者 247,935人 (25.5%)
- 出生数 8,302人 (8.7%)
- 死亡数 10,083人 (10.5%)

全国平均よりも早く高齢化が進んでおり、  
政令指定都市の中でも高齢化率が一番高い

## 関係部署・関係機関



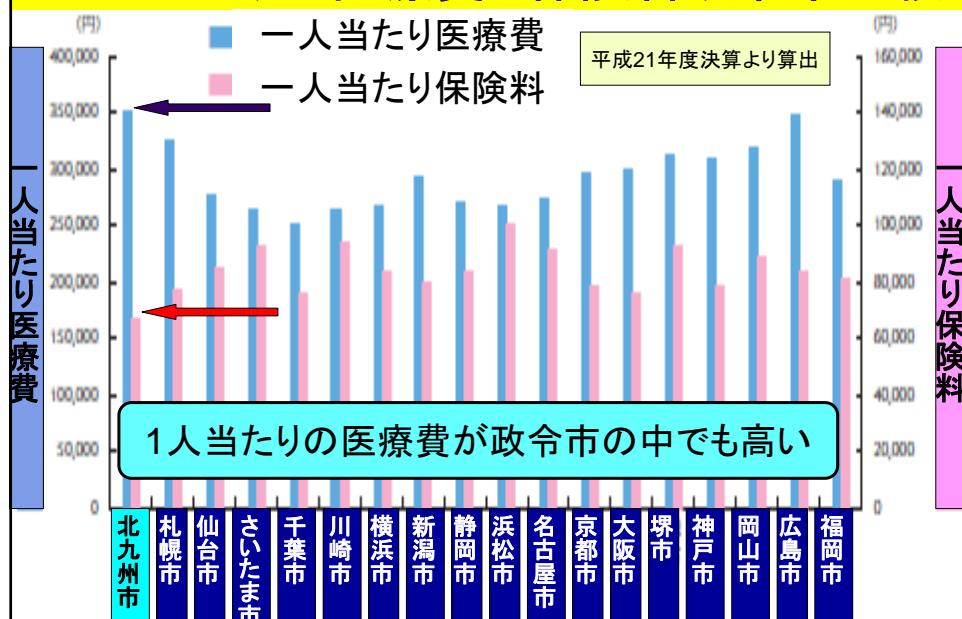
- 本庁内部
- 各区役所 (衛生部門との連携)  
情報提供、情報共有及び検討会を実施
- 医師会  
情報提供、情報共有等 (健診結果、重症化予防の  
取り組み等)
- 国保連合会

## 実態把握



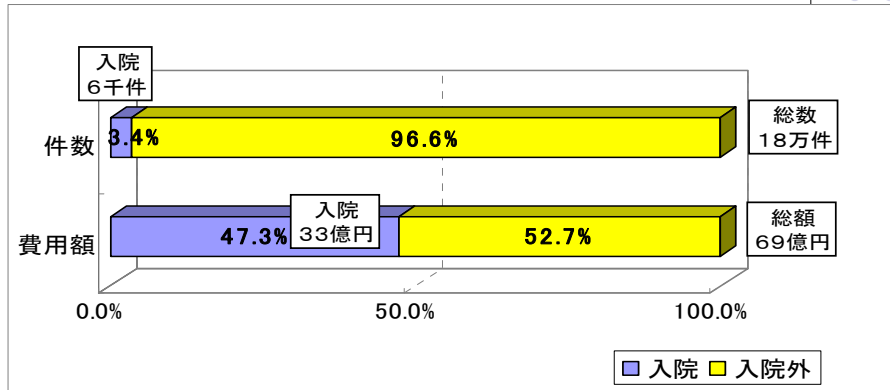
- 医療費データ(確定版を基に)
- 介護保険データ
- 身体障害者手帳データ
- 母子保健データ
- 特定健診、特定保健指導データ
- 生活実態
- 社会保障費(財源)

## 一人当たりの医療費と保険料政令市比較



# 市国保入院レセプトの現状

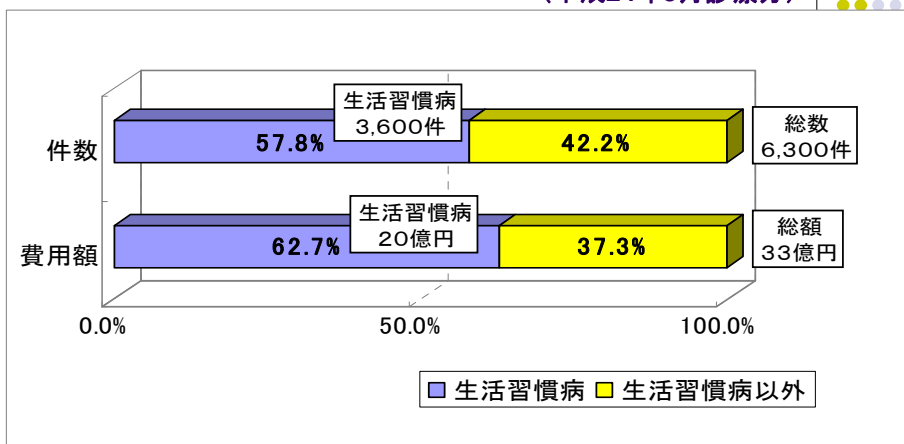
## ①入院が占める割合 (平成24年5月診療分)



入院にかかる件数は約3%だが、  
入院の費用割合は47%を超えている  
⇒生活習慣病予防が入院医療費を抑えることにつながる

## ②入院のうち生活習慣病の占める割合

(平成24年5月診療分)



入院のうち生活習慣病の割合は、件数費用ともに約60%  
⇒生活習慣病予防が入院医療費を抑えることにつながる

### ③一月200万円以上のレセプト



生活習慣病に関するもの(がん除く) (平成24年5月診療分)

	実人数	虚血性心疾患		大動脈疾患		脳血管疾患		腎	
		件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
600万円以上	1	1	100.0%	—	—	—	—	—	—
500万円台	3	1	33.3%	1	33.3%	2	66.7%	—	—
400万円台	9	2	22.2%	2	22.2%	1	11.1%	2	22.2%
300万円台	19	2	10.5%	2	10.5%	3	15.8%	3	15.8%
200万円台	96	32	33.3%	4	4.2%	17	17.7%	3	3.1%
合計	128	38	29.7%	9	7.0%	23	18.0%	8	6.3%

※疾患が重複している場合は、全てに集計

循環器疾患は高額の治療費がかかっている

### ④一月200万円以上のレセプトの基礎疾患

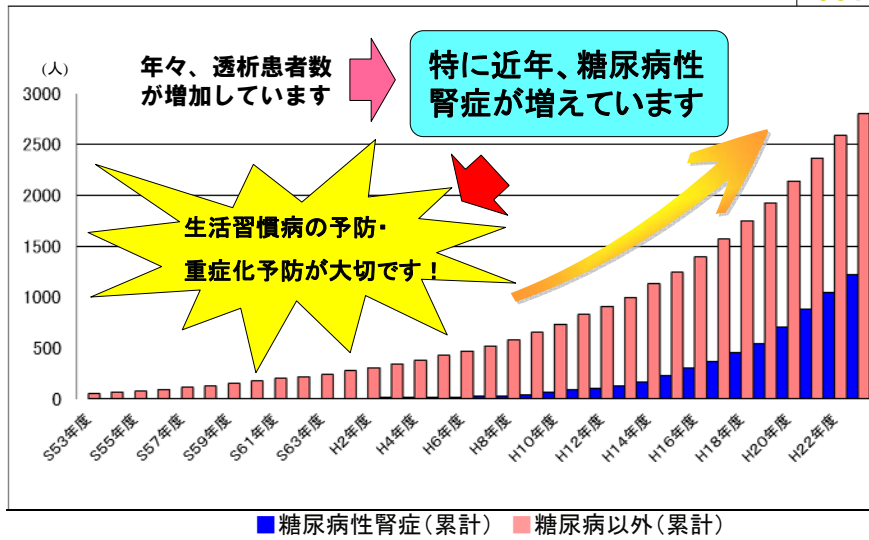


生活習慣病に関するもの(がん除く) (平成24年5月診療分)

高血圧症		糖尿病		脂質異常症	
件数	割合	件数	割合	件数	割合
1	100.0%	1	100.0%	—	—
2	66.7%	1	33.3%	—	—
7	77.8%	3	33.3%	1	11.1%
6	31.6%	6	31.6%	2	10.5%
42	43.8%	24	25.0%	26	27.1%
58	45.3%	35	27.3%	29	22.7%

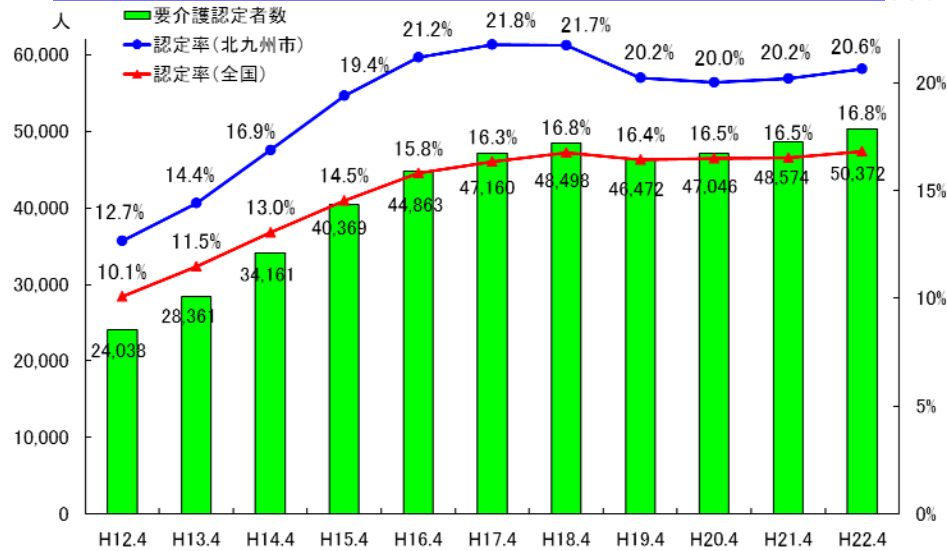
基礎疾患は高血圧症が約45%を占めている

## 人工透析患者数(累計)



北九州市身体障害者手帳 腎臓機能障害データ

## 要介護認定者数と認定率の推移



※北九州市は、「北九州市の介護保険(年報)」 全国は厚生労働省「介護保険事業報告」(暫定版)

全国平均よりも認定率が高い。

## 北九州市第2号被保険者 要支援・要介護認定者の原因疾患 (がんを除く生活習慣病に関するもの)



(平成24年3月末現在)

生活習慣病に 関係するもの	再掲		
	脳血管疾患	糖尿病性神経 障害・腎症・ 網膜症	閉塞性動脈 硬化症
67.5%	59.9%	7.1%	0.5%

生活習慣病に関係するものが67.5%  
そのうち、脳血管疾患が59.9%と高い

## 社会保障費の現状



医療や介護保険など

非常に厳しい  
現状

## 北九州市の健康課題と方向性



- 高血圧、高血糖、腎機能低下者の重症者が多い
- 生活習慣病が重症化して、入院している
- 腎機能が低下し、人工透析患者が多い
- 要介護認定率が高く、生活習慣病との関連が大きい

高血圧症と糖尿病を柱とし、  
慢性腎臓病の視点も踏まえた  
生活習慣病予防及び重症化予防対策が重要

## 市国保における主な保健事業



- (1) 特定健診・特定保健指導(受診促進含む)
- (2) 特定保健指導対象外の者への保健指導
- (3) 慢性腎臓病(CKD)予防連携システム  
(糖尿病予防対策含む)



## 市国保特定健診・特定保健指導



- 特定健診・特定保健指導は市医師会に委託  
(概ね健診実施機関で特定保健指導を実施)
- 方法: 個別方式(約500医療機関)  
集団方式(約300箇所)
- 実施期間: 通年
- 検査項目: 開始当初から血清クレアチニン、  
血清尿酸、尿潜血を追加、  
ヘモグロビンA1cを必須
- 健診後のフォロー: 重症化予防

- 特定保健指導対象外の者への保健指導(行政が実施)
- 北九州市慢性腎臓病(CKD)予防連携システム

## 市国保特定健診実施状況



年度	平成20	平成21	平成22	平成23
受診率目標値	25.0%	35.0%	45.0%	55.0%
受診率 (法定報告値)	<u>22.0%</u>	<u>25.6%</u>	<u>28.6%</u>	<u>31.1%</u> (H20に比べ 9.1 ポイント増)
政令指定都市順位	12位	7位	6位	5位

特定保健指導は平成23年度⇒27.5%  
政令指定都市第5位

# 特定保健指導対象外の者への 保健指導

特定保健指導対象者だけでは不十分

笑顔と元気のでんごもり



健康いちばん  
北九州市

目的

生活習慣病の重症化予防



特定保健指導対象外の者  
にも保健指導を実施

個別のアプローチ重視

重症化予防のための受診勧奨・受診確認・  
受診継続支援・検査値の良好な  
コントロールのための保健指導

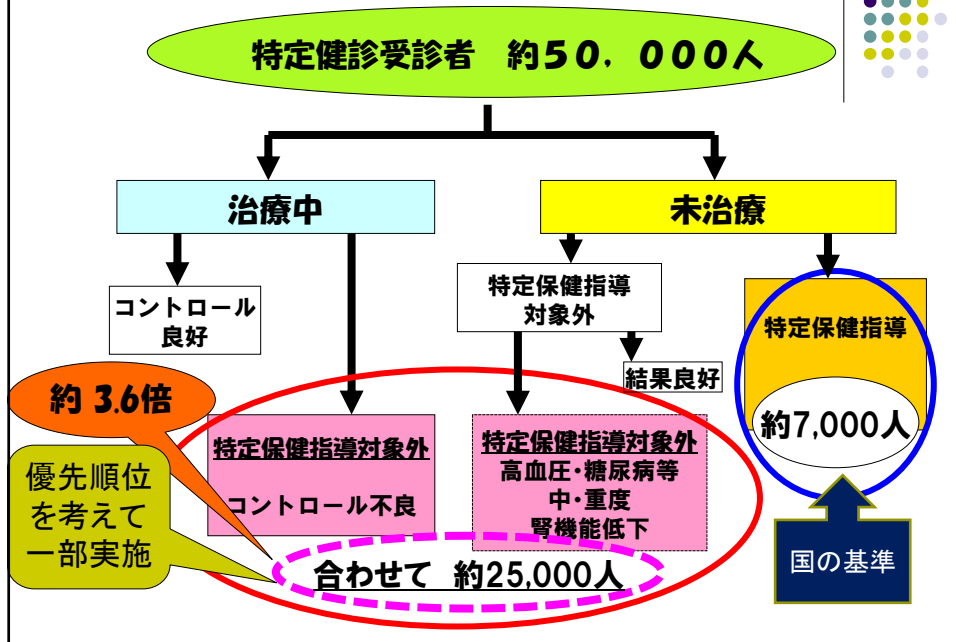
生活習慣病の重症化予防

STOP!!

脳卒中・虚血性心疾患・人工透析・重度の要介護状態



## 平成23年度受診者状況と保健指導に至る流れ



## 取り組みの経緯

年度	実施したこと
20	区役所衛生部門との目的・目標の共有 優先課題の整理・他業務との調整 保健指導の一部試行実施→対象者や役割の決定
21	マニュアル作成・開始・実施状況の把握 本庁が各区をまわり、状況を聴き取り
22	レセプト分析等により対象者の更なる明確化 実施結果・評価を踏まえた検討会の実施
23	マニュアル改定(より効果的な実施方法・役割分担への変更)
24	マニュアル改定(対象者の拡大)

主に経年の健診結果で取り組みを評価

## 高血圧(Ⅱ度以上)の保健指導



維持・改善率  
7割～8割

未治療者を治療につなげる  
→脳卒中や虚血性心疾患の予防

## 腎臓の機能が50%未満の者



維持・改善率  
9割以上

人工透析への移行を回避

家庭訪問  
→個別アプローチの効果

## 糖尿病(HbA1c 6.1%以上) の保健指導



維持・改善率  
3割

今後さらに  
継続的かつ効果的な保健指導

## 北九州市慢性腎臓病（CKD） 予防連携システム

人工透析が多い

目的



生活習慣病の重症化予防と  
心血管疾患の発症抑制を目的に、北九州市国民健康保険特定健診からのCKD予防連携システムを構築



## 経緯



### 1 データ分析を実施

特定健診、母子保健、学校保健、  
障害のデータ等を分析

### 2 CKD検討会を年度数回開催

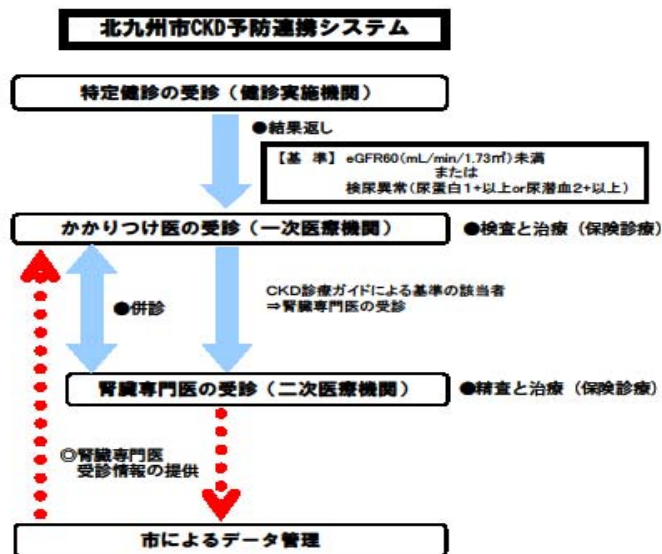
検討会では、「健康課題の共有」「役割の  
明確化」「受診基準」等を協議し決定した。

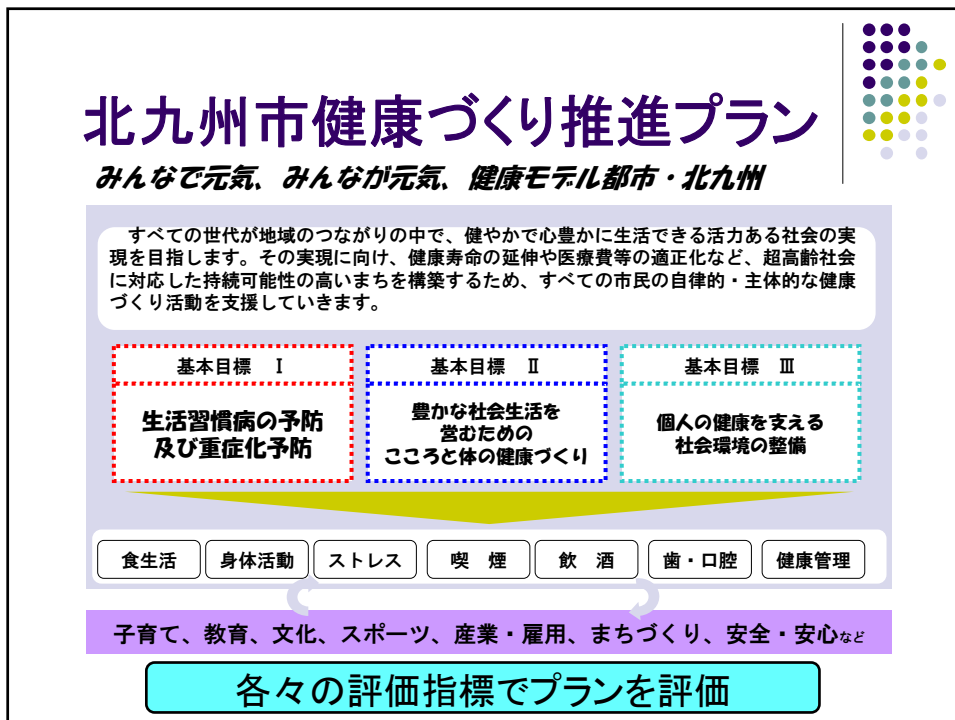
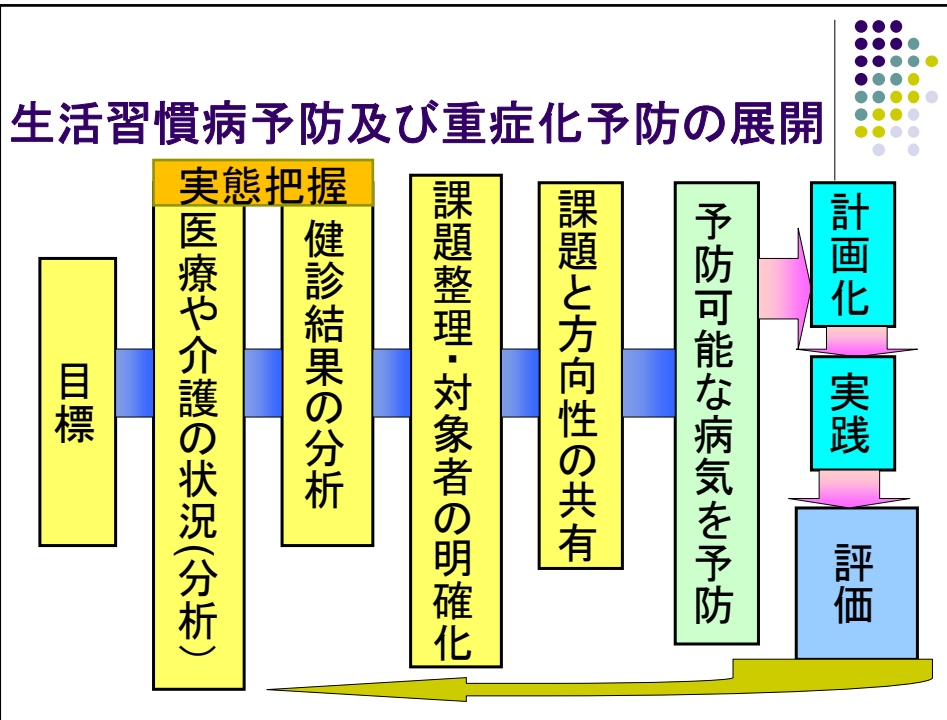


CKD予防連携システム構築

健診結果・連絡票・新規透析患者等でシステムを評価

## CKD予防連携システム





## 保健事業の取り組みができたのは・



- 現状把握  
⇒ 課題の明確化(ターゲットの絞込み)
- 関係者との課題の共有
- 関係部門との連携  
・ライフステージ別の取り組み重点課題抽出
- 評価の実施⇒次の展開へ  
・受診率、健診結果(改善状況等)、医療費・

## 展開にあたって



実態把握(視点は広く・個の事例も重視)⇒データ分析  
課題の整理⇒対象者の明確化

説明資料の作成  
(市の財源、社会保障費の現状も加味)

課題と方向性の共有  
関係者への説明と理解・幹部の理解と協力

予算化・施策化へ

実践・評価



## まとめ（大切だと感じたこと）



- 現状分析から優先課題を検討
- いろんな場面で情報提供等をし、目的や方向性を共有し、関わっていくことが大切
- 健診結果等を経年的に評価し、次のステップへ
- 個への関わり（訪問等）は重要で、個の課題を地域の予防活動に活かしていく
- 社会状況、経済状況、市の財源や社会保障費等に関しても把握が大切